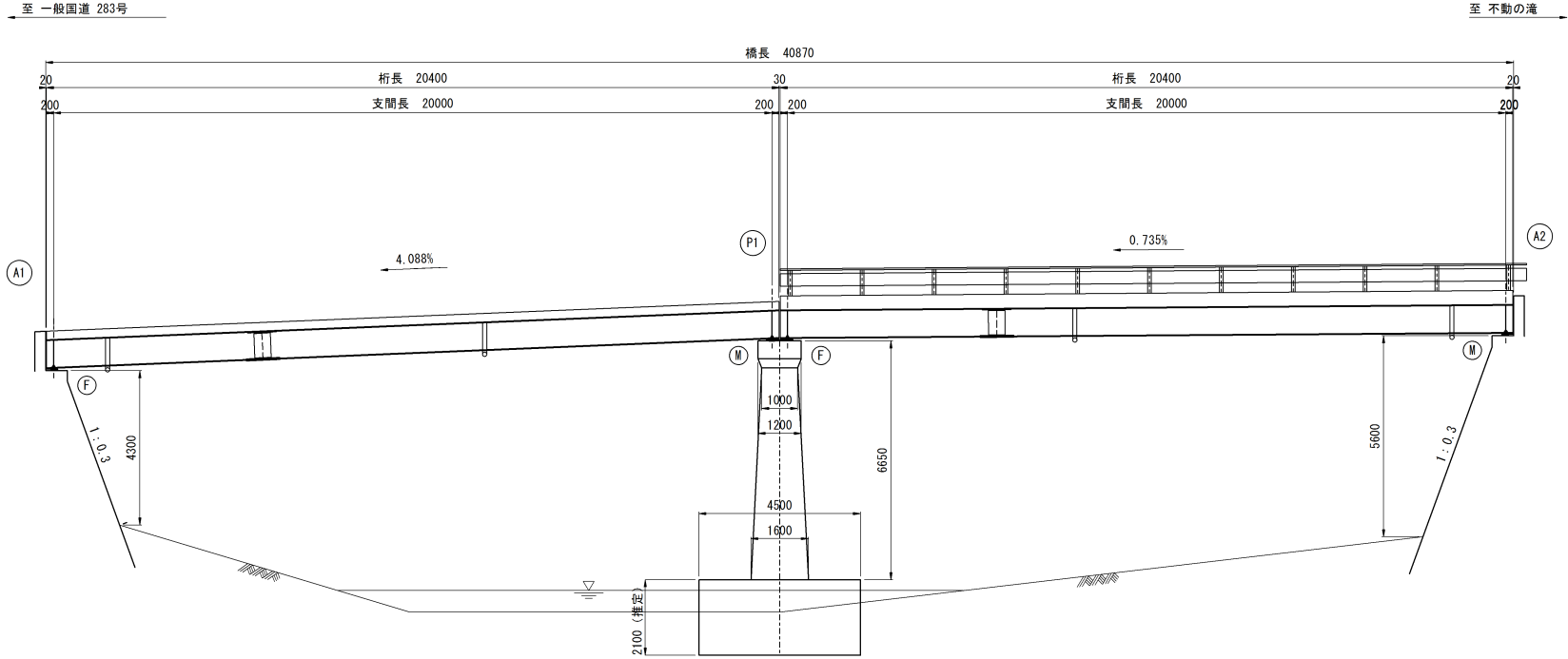
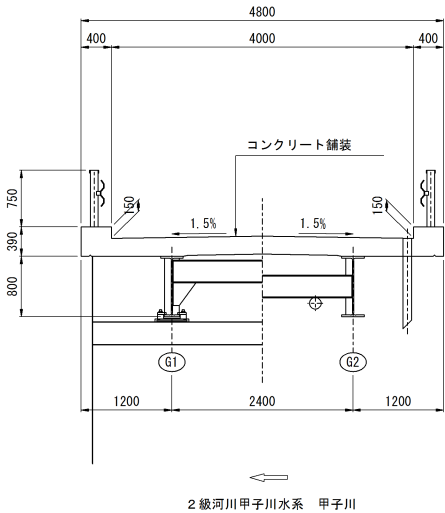


不動橋 現橋一般図

側面図 S=1:100



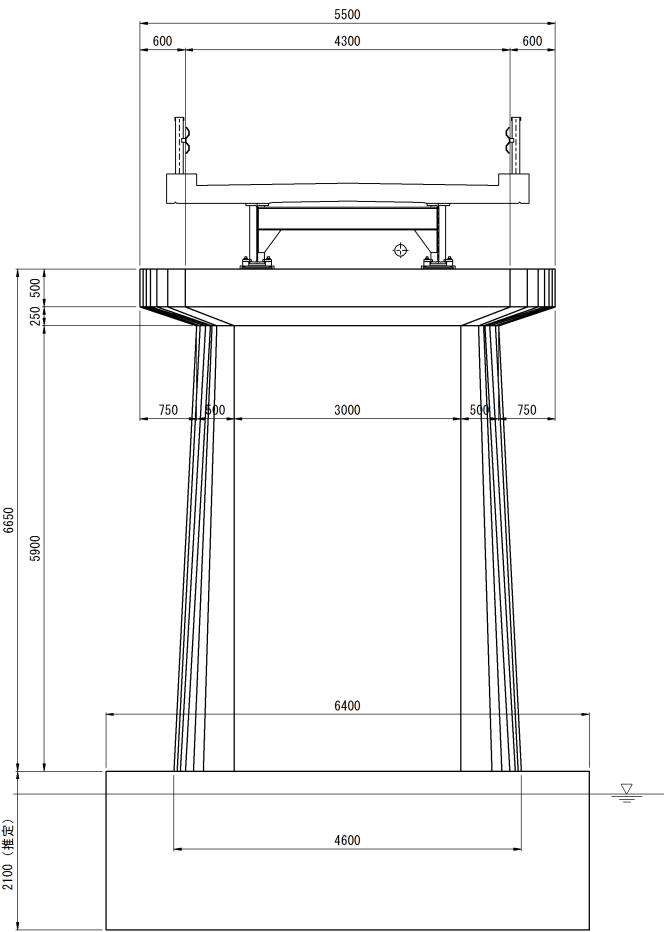
断面図 S=1:50



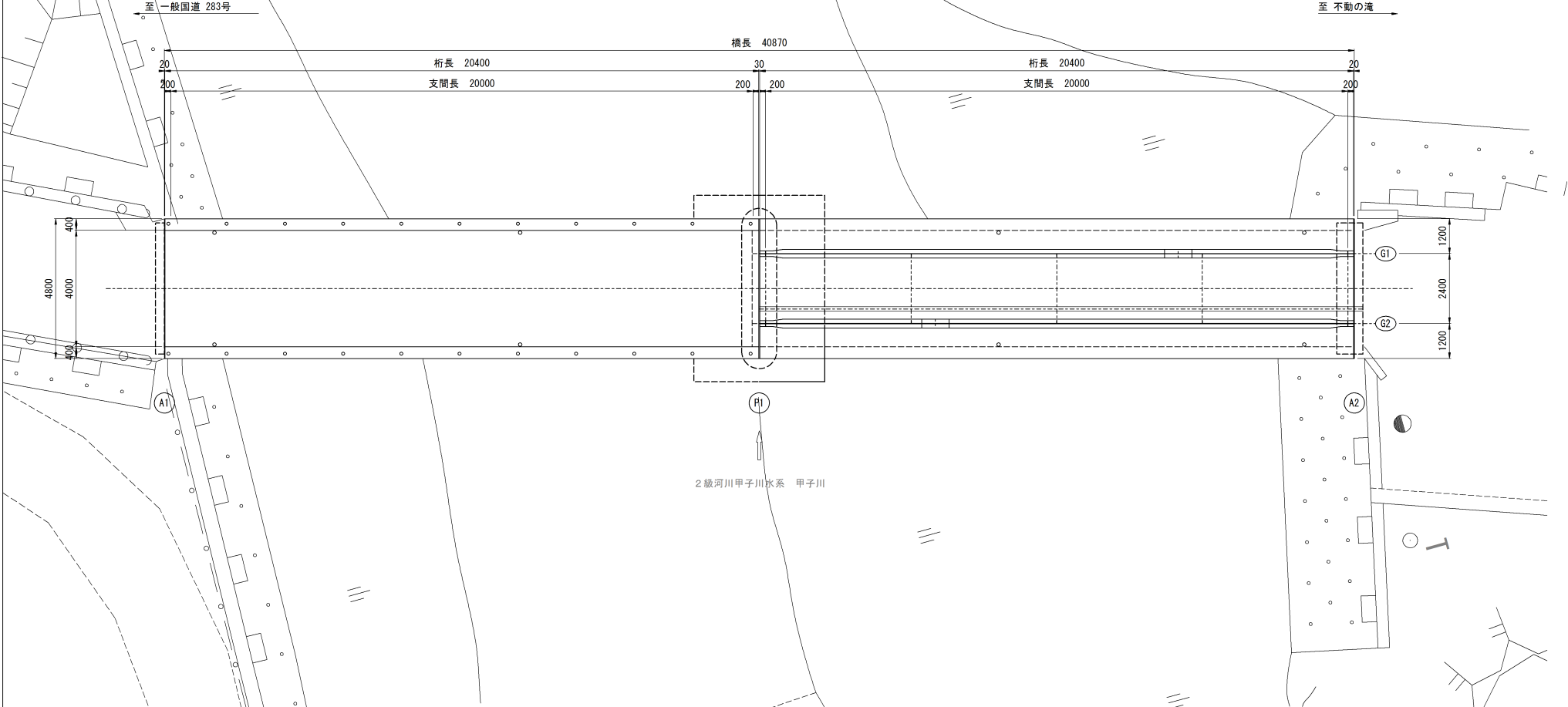
現橋諸元

型 式	2径間鋼単純H桁橋
橋 格	2等橋
竣 工	昭和47年（1972年）
荷 重	TL-14
橋 長	40.870m
桁 長	2×20.400m
支間長	2×20.000m
幅 員	4.800m（有効幅員4.000m）
斜 角	90°
適 用 示 方 書	昭和39年8月（1964年）道路橋示方書

橋脚構造図 S=1:50



平面図 S=1:100



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。橋部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

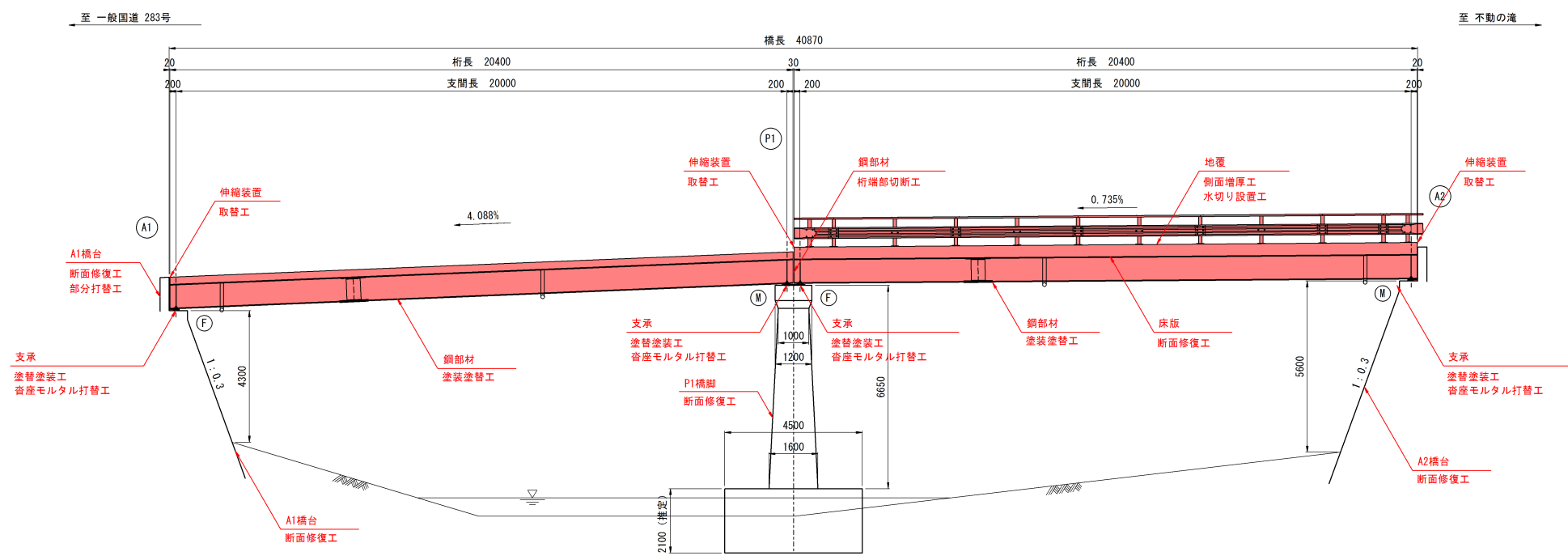
釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 1	不動橋 現橋一般図
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

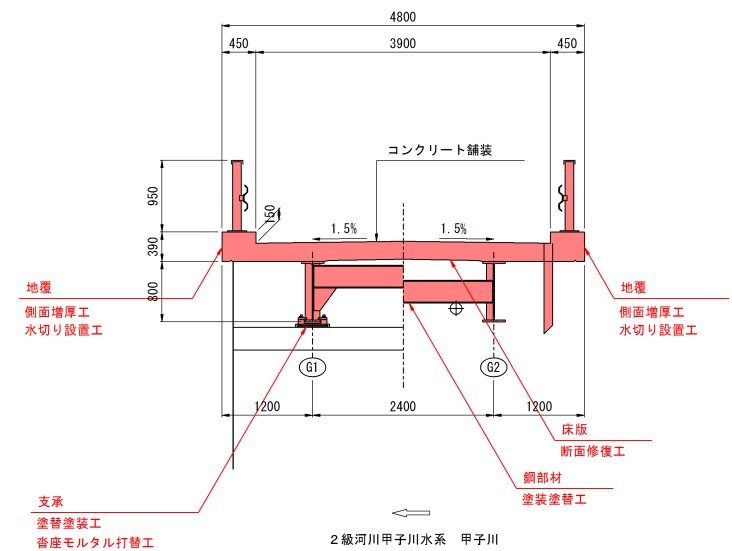
1/19

不動橋 補修一般図

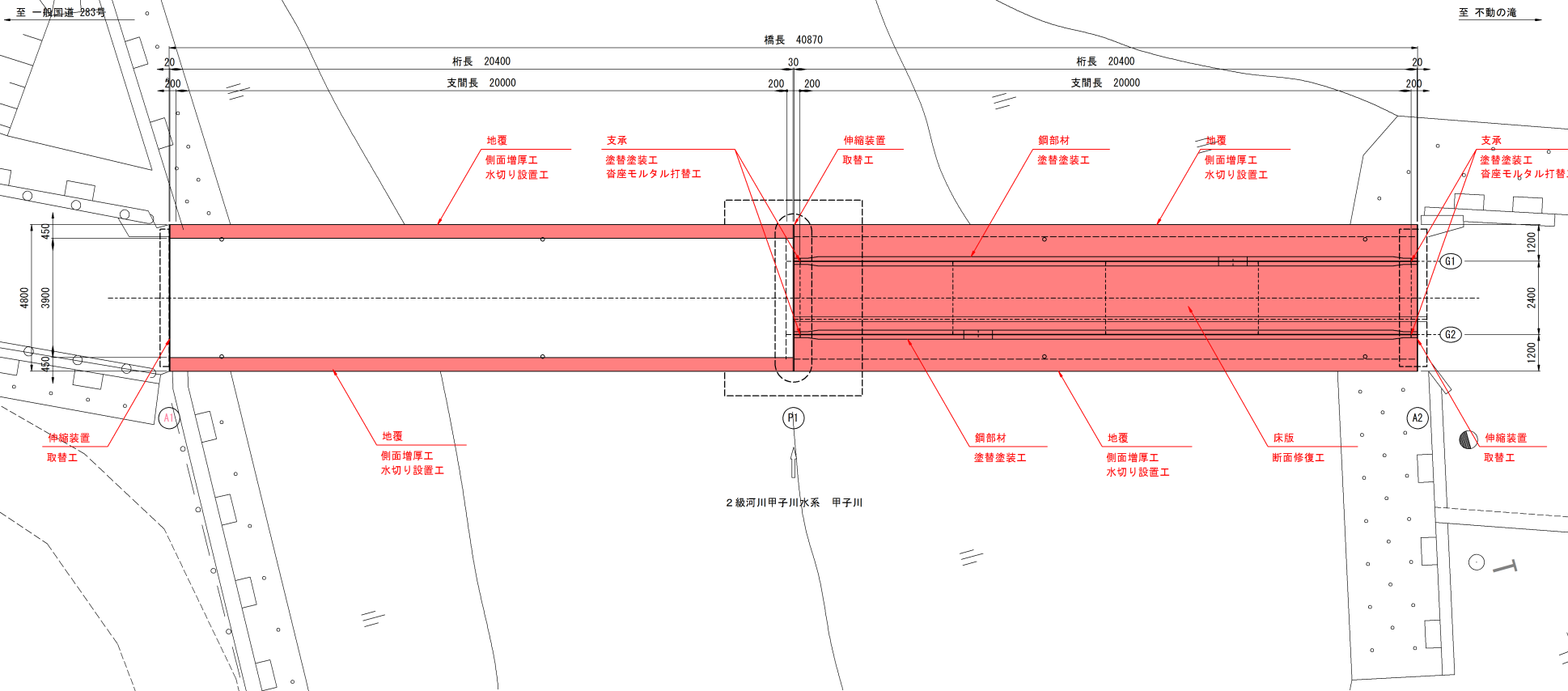
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



補修一覧表

部 材 名		補 修 工 法	備 考
上部工	鋼部材	塗装塗装工	Ro-I 塗装系
		桁端部切断工	現場ガス切断
	床版	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
下部工	支 承	塗装塗装工	Ro-I 塗装系
		寄座モルタル打替工	無収縮モルタル
	A1橋台	断面補修工	ポリマーセメントモルタル
		部分打替工	コンクリート
	P1橋脚	断面補修工	ポリマーセメントモルタル
	A2橋台	断面補修工	ポリマーセメントモルタル
橋面工	伸縮装置	伸縮装置取替工	鋼製槽形ジョイント
	地 覆	側面増厚工	コンクリート
		水切り設置工	軟質PVC
	防護柵	防護柵取替工	ガードレール (C種)

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 2	不動橋 補修一般図
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

不動橋 鋼部材補修図

主桁詳細図 S=1:50

上フランジ

20370 (20400)

ウェブ

20370 (20400)

下フランジ

20370 (20400)

横桁詳細図 S=1:50

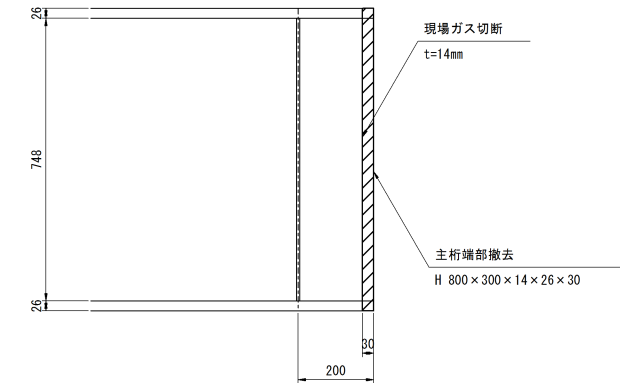
20370 (20400)

断面図 S=1:30

桁端遊間の状況

桁端部切断工 S=1:10

P1 (A2側 (Mov)) N=2@2箇所



Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1 種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

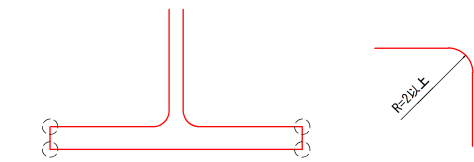
公益社団法人 日本道路協会が発行するH26.3「鋼道路橋防食便覧」に準じる。
1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
3：プラスト処理による除せいでISO Sa2 1/2とする。

塗膜調査結果

分析項目	単位	分析結果	定量下限値
水銀又はその化合物	mg/L	0.0005未満	0.0005
カドミウム又はその化合物	mg/L	0.001	0.009
鉛又はその化合物	mg/L	0.002未満	0.03
六価クロム化合物	mg/L	0.02未満	0.15
砒素又はその化合物	mg/L	0.002未満	0.03
熱灼減量	%-dry	15	0.1
鉛	mg/kg	17000	5
六価クロム	mg/kg	0.05未満	5
PCB	mg/kg	0.96	0.01

※鉛およびPCBの含有が確認できるため、処理方法は発注者と協議のこと。

エッジ部曲面仕上げ



※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。
(下フランジエッジ部：4角を対象とする)

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

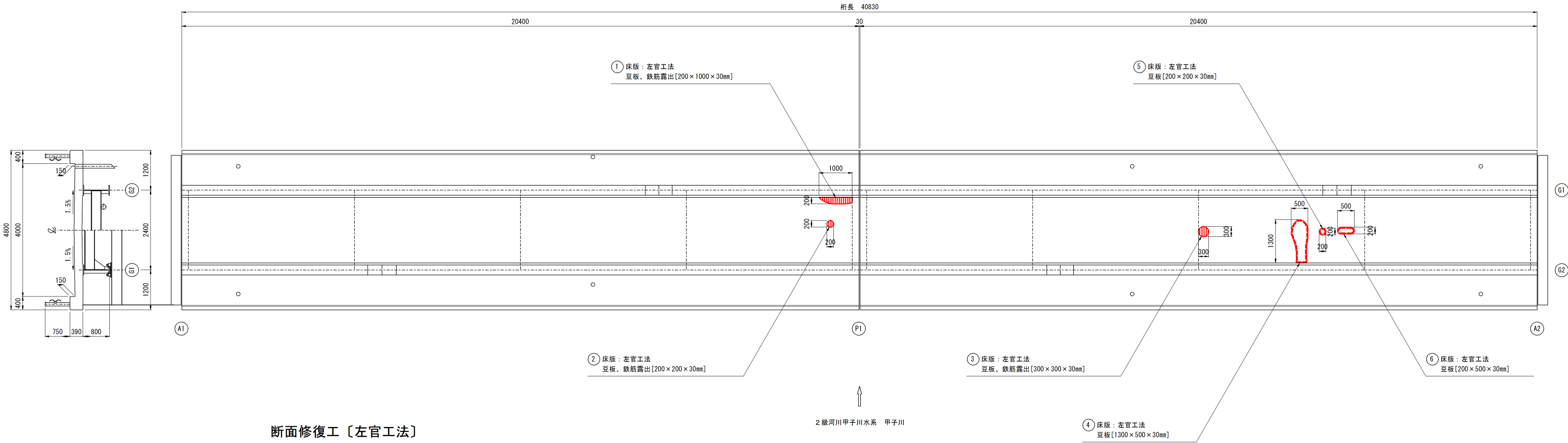
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚 / 中 其 3	不動橋 鋼部材補修図
令和 4 年度	
大洞線 (不動橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

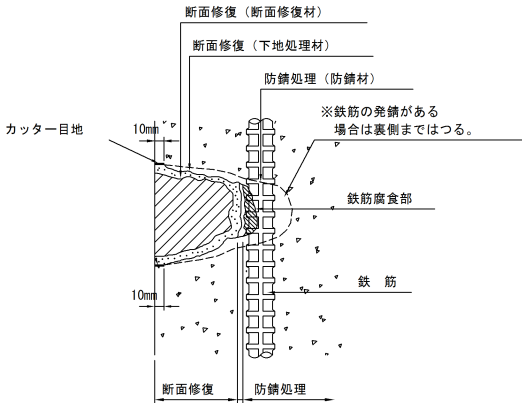
不動橋 床版補修図 S=1:60

損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥離、豆板	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

※凡例
番号 部材：左官工法
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

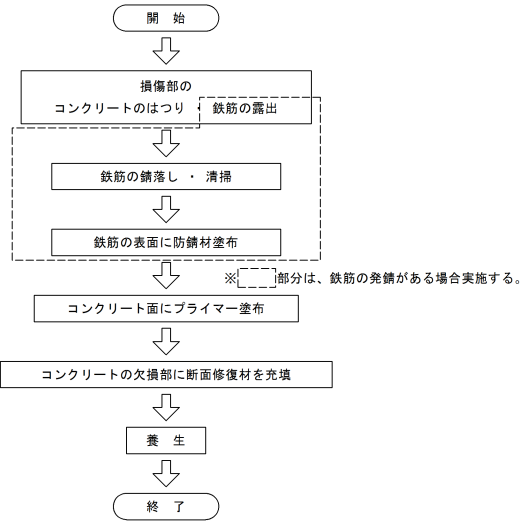


断面修復工〔左官工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度の Cutter を入れること。
※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

断面修復の施工フロー



材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

断面補修工 数量表

工 法	箇 所	寸 法				数 量				
左官工法	床版	①	0.200	×	1.000	×	0.030	=	0.0060	m3
		②	0.200	×	0.200	×	0.030	=	0.0012	m3
		③	0.300	×	0.300	×	0.030	=	0.0027	m3
		④	1.300	×	0.500	×	0.030	=	0.0195	m3
		⑤	0.200	×	0.200	×	0.030	=	0.0012	m3
		⑥	0.200	×	0.500	×	0.030	=	0.0030	m3
		合 計 =							0.034	m3

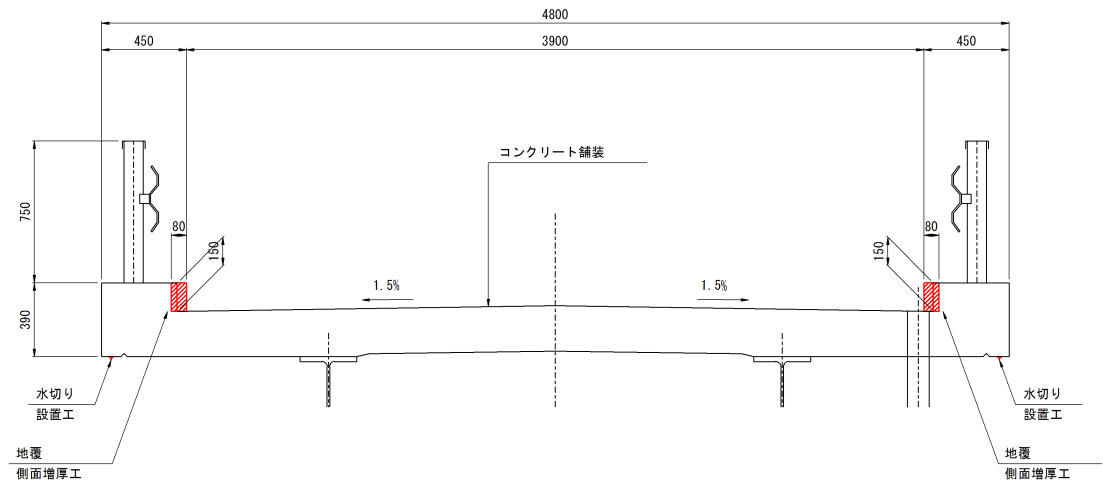
この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

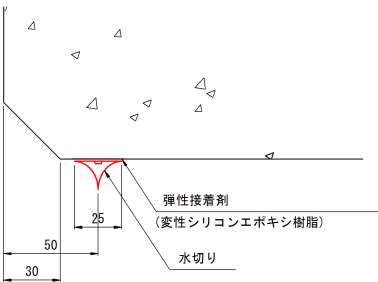
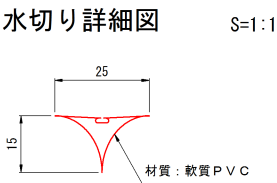
釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 4	不動橋 床版補修図
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

不動橋 地覆補修図

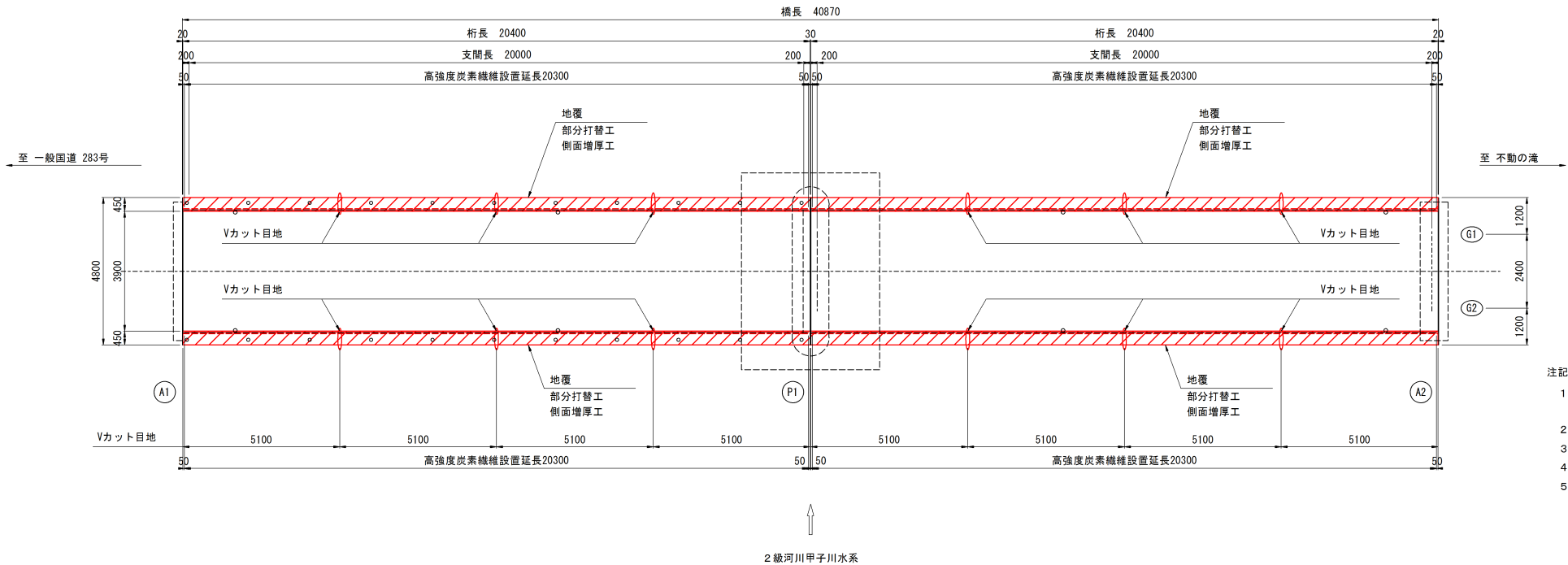
断面図 S=1:20



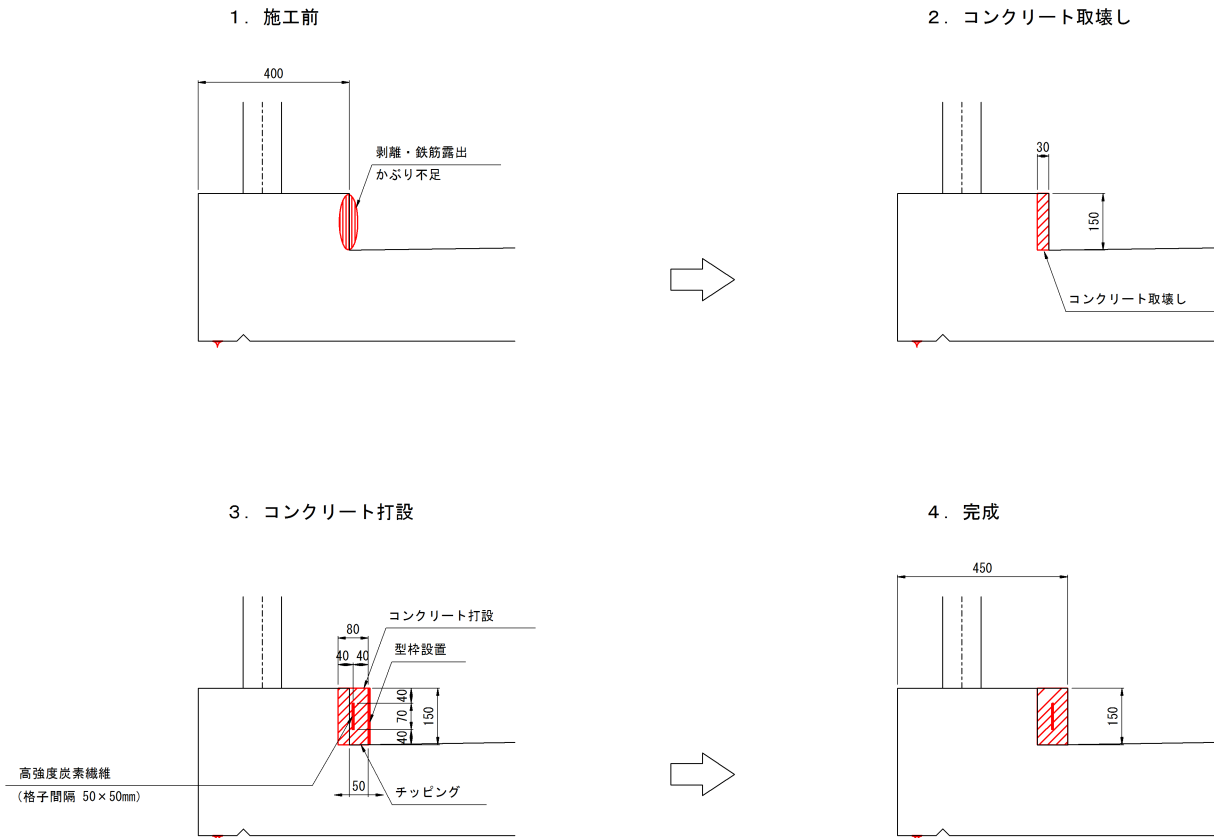
水切り部詳細図 S=1:2



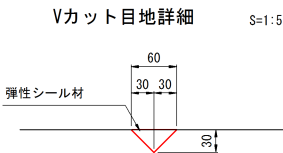
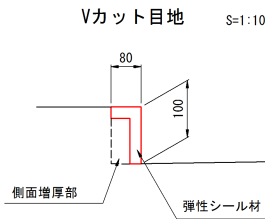
平面図 S=1:100



側面増厚エステップ図 S=1:10



目地詳細図



材料表

工種	仕様
部分打替工	コンクリート 24-12-25-55

- 注記
- 地覆コンクリートには膨張材を用いる。
(単位膨張材量 30kg/m³)
 - 地覆撤去の際は、既設床版を傷つけないように注意すること。
 - 施工の際、床版に損傷が起きた場合、監督員と協議し適切な処置を行うこと。
 - コンクリートを取壊す際は、既設鉄筋の切断に注意すること。
 - 排水樹に重なる場合は、排水樹の形状に沿ってコンクリートを打設すること。

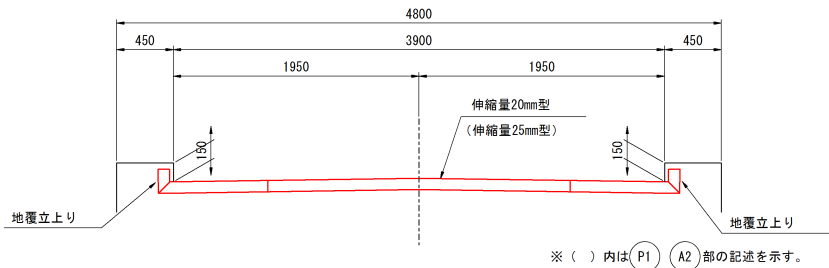
この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

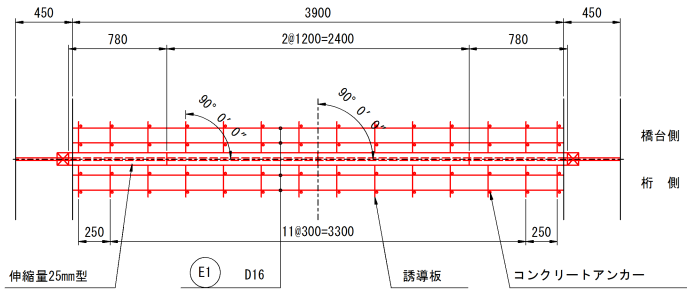
釜石市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 5	不動橋 地覆補修図
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

不動橋 伸縮装置補修図

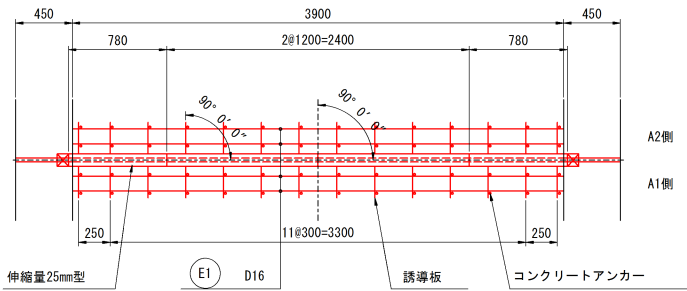
横断面図 S=1:30



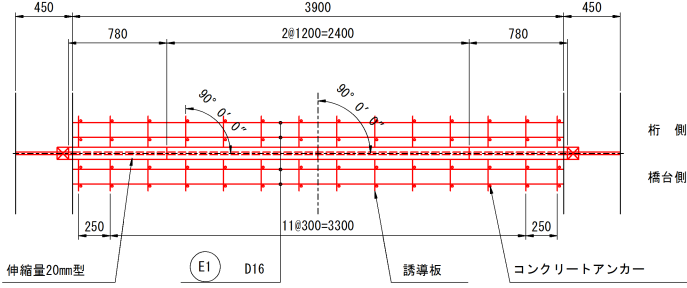
A2 平面図 S=1:30



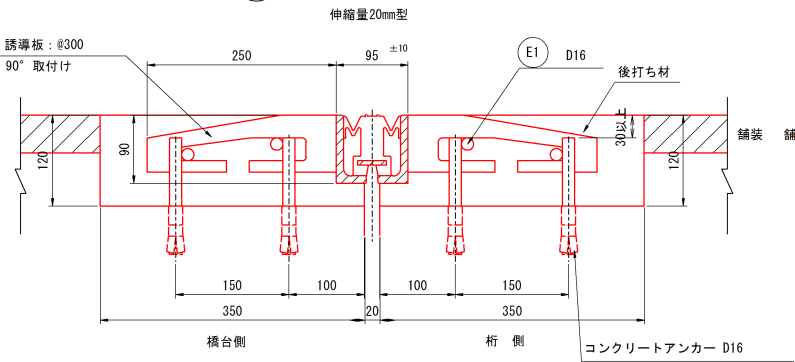
P1 平面図 S=1:30



A1 平面図 S=1:30

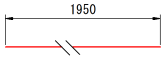


A1 取付断面図 S=1:5

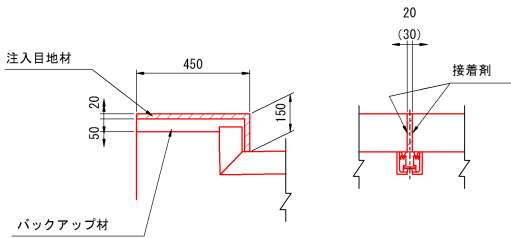


補強鉄筋加工図

E1 24-D16×1950

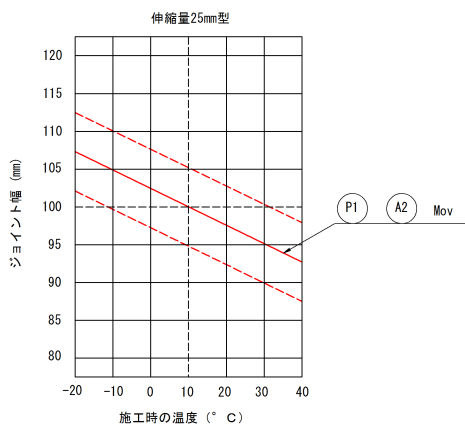


地覆部止水工詳細図 S=1:15

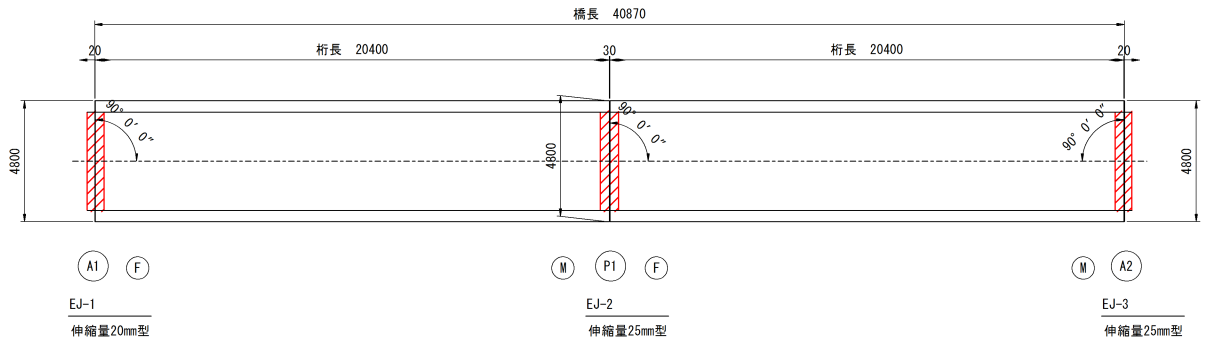


※ () 内は (P1) 部の記述を示す。

初圧縮グラフ



配置図 S=1:150

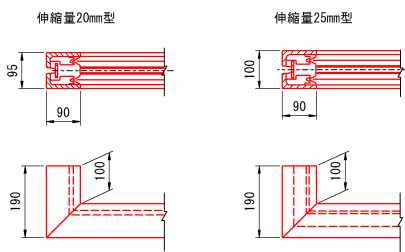


伸縮装置取付工事材料表

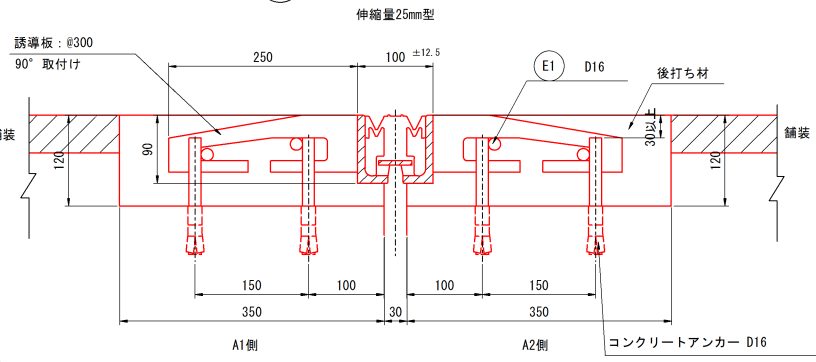
材 料 名	種 類	寸 法	数 量	摘 要
車道部 ゴムジョイント	伸縮量25mm型 誘導板：90° 取付け	100×90×1200	4 本	合計 7.92 m 地覆立上り付き
		100×90×780	4 本	
	伸縮量20mm型 誘導板：90° 取付け	95×90×1200	2 本	合計 3.96 m 地覆立上り付き
		95×90×780	2 本	
地覆立上り	伸縮量25mm型用	100×190×90	4 本	
	伸縮量20mm型用	95×190×90	2 本	
後打ち材	超速硬コンクリート	700×120×11700	0.983 m ³	
補強鉄筋	E1	24-D16×1950	73.0 kg	
コンクリートアンカー	D筋アンカー	D16	168 本	
注入目地材	シール材	30×20×1200 20×20×2400	0.7 ㎡ 1.0 ㎡	合計 1.7 ㎡
接 着 剤	プライマー No. 40		500 g	最小ロット
バックアップ材	ウレタンフォーム	60×50 40×50	1.2 m 2.4 m	
接 着 剤	エポキシ系		100 g	最小ロット

※ 伸縮装置の切断寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。

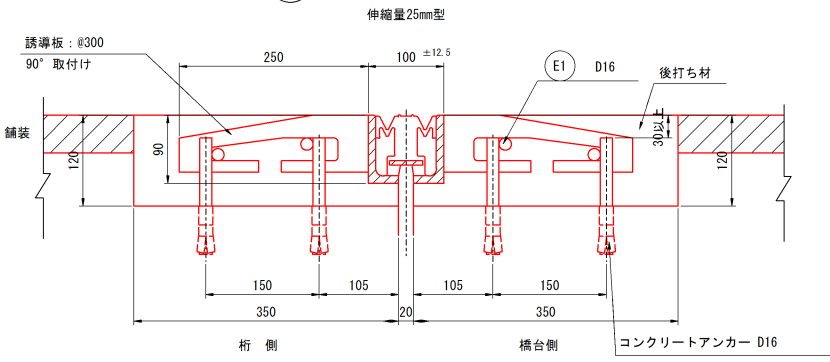
地覆立上り部詳細図 S=1:10



P1 取付断面図 S=1:5



A2 取付断面図 S=1:5



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

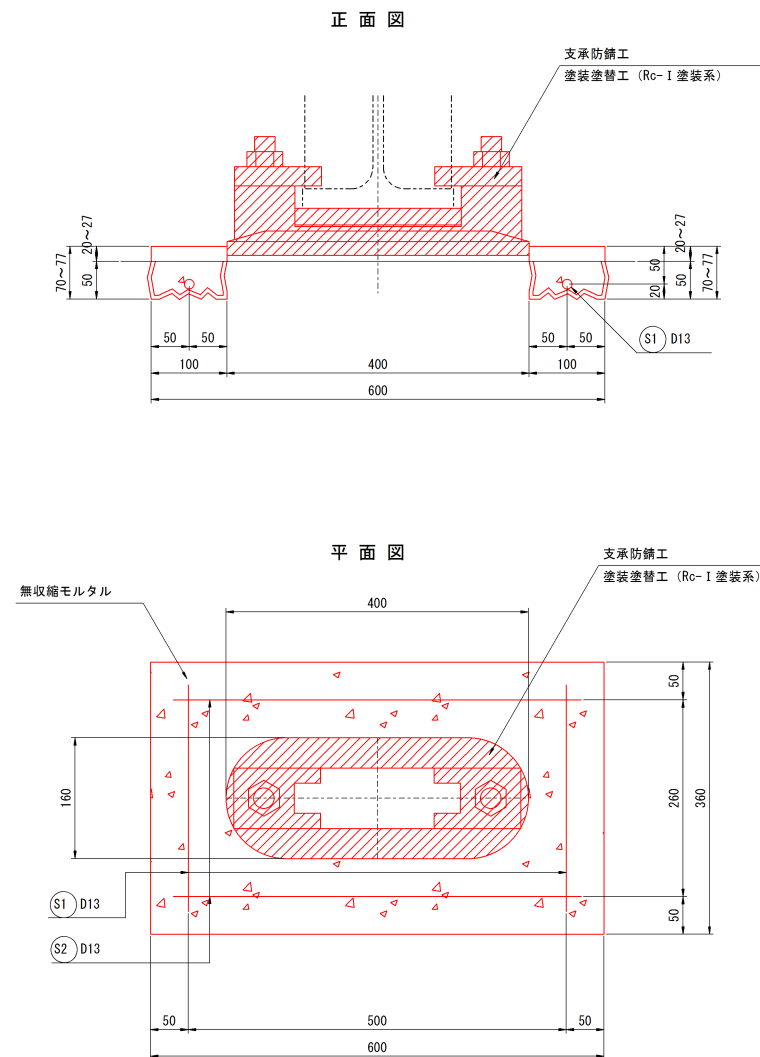
釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 6	不動橋 伸縮装置補修図
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

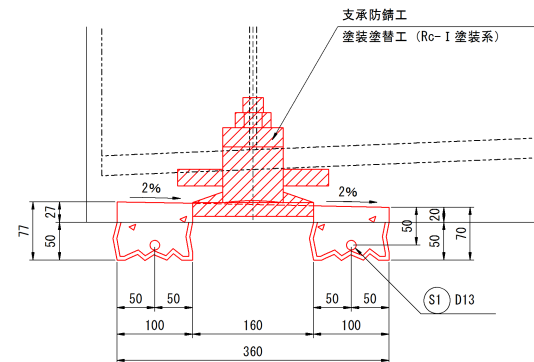
不動橋 支承補修図

補修詳細図

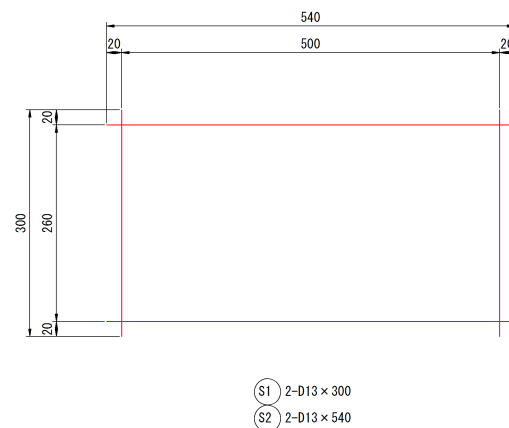
S=1:5



側面図

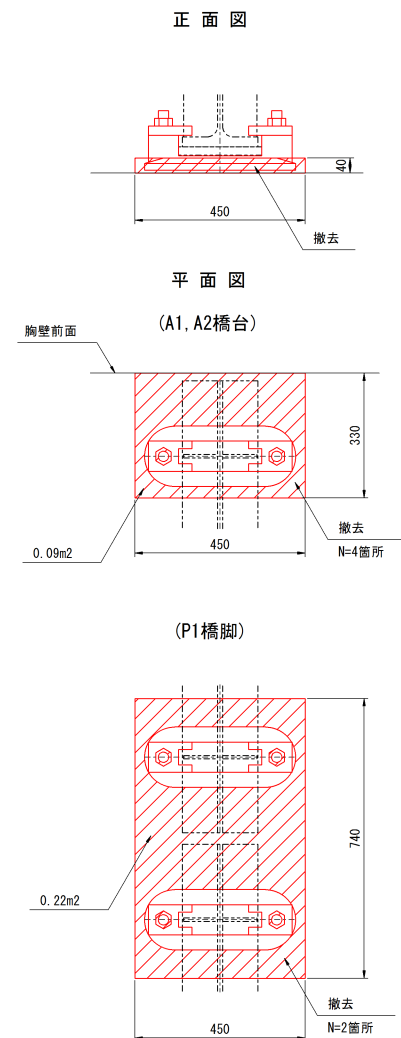


補強鉄筋詳細図



既設沓座モルタル撤去図

S=1:10



Rc- I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

公益社団法人 日本道路協会が発行するH26.3「鋼道路橋防食便覧」に準じる。

- 1：原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。
- 2：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
- 3：プラスト処理による除せいで度はISO Sa2 1/2とする。

塗装塗替工 数量表

	A1橋台	P1橋脚	A2橋台	総合計
支保1基当り	0.13	0.13	0.13	1.1 m ²
数 量	2	4	2	
合 計	0.3	0.5	0.3	

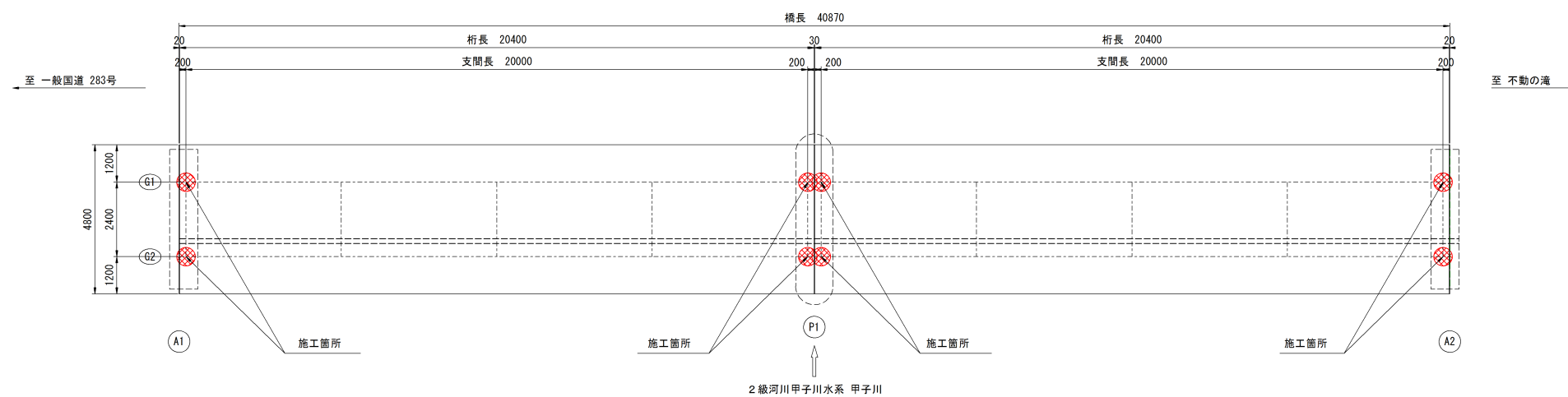
※既存資料が存在しないため、標準図集からの推定である。

鉄筋表

[illegible]

位置図

S=1 : 100



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 7	不動橋 支承補修図
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

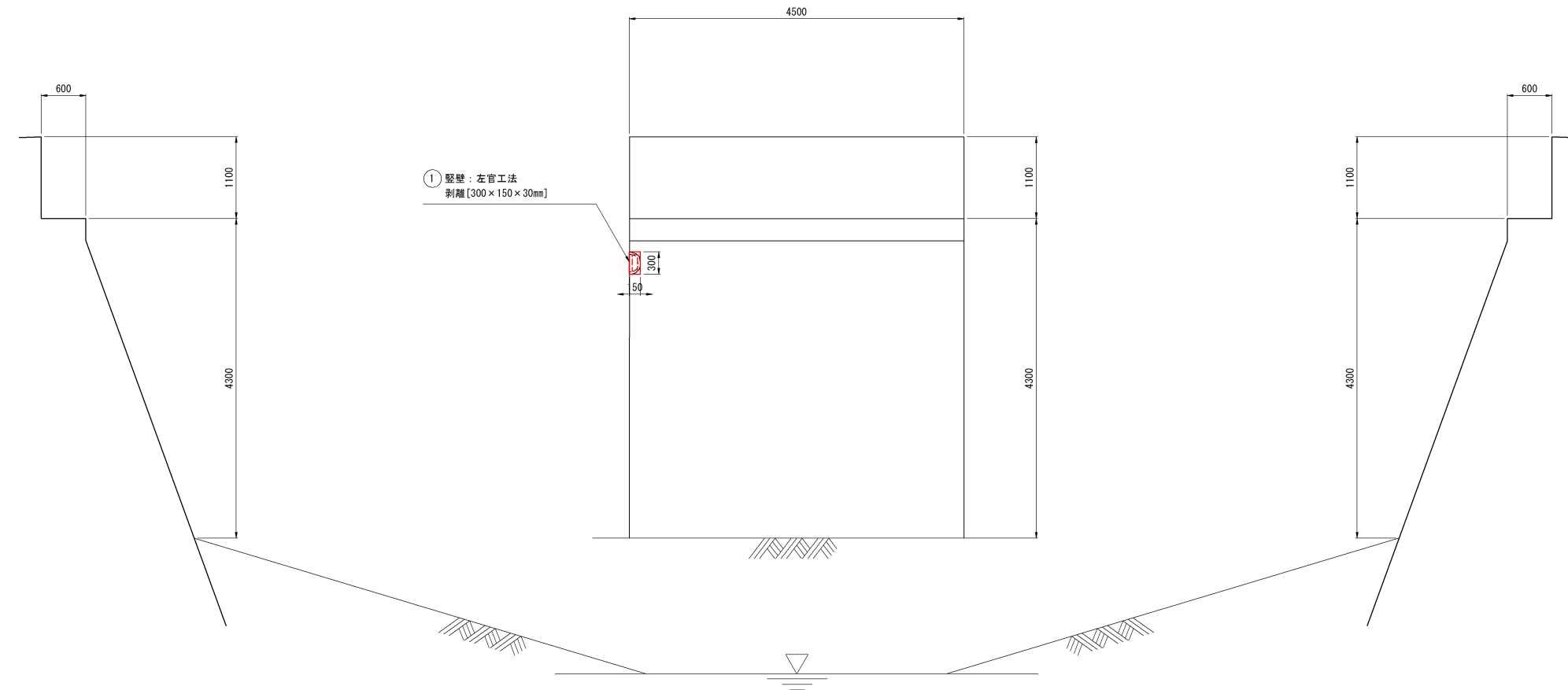
(A1橋台)

正面図

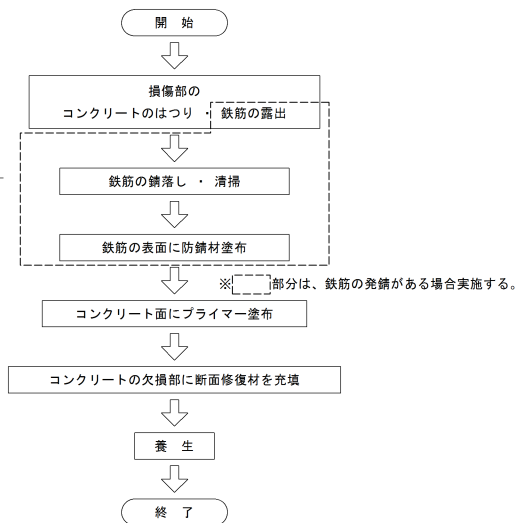
損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

※凡例

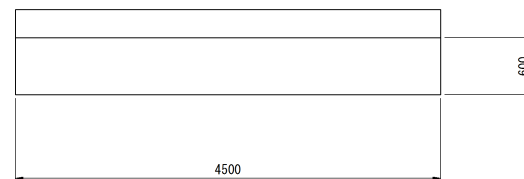
番号 部材：左官工法
損傷[縦×横×厚さ(mm)]



断面修復の施工フロー



平面图



断面補修工 数量表

(ポリマーセメントモルタル)

工 法	箇 所	寸 法	数 量
左官工法	床版	① 0.300 × 0.150 × 0.030 =	0.00135 m3
		合 計 =	0.0014 m3

※端部はフェザーエッジ防止のため、
10mm程度のカッターを入れること。

※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

材料表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

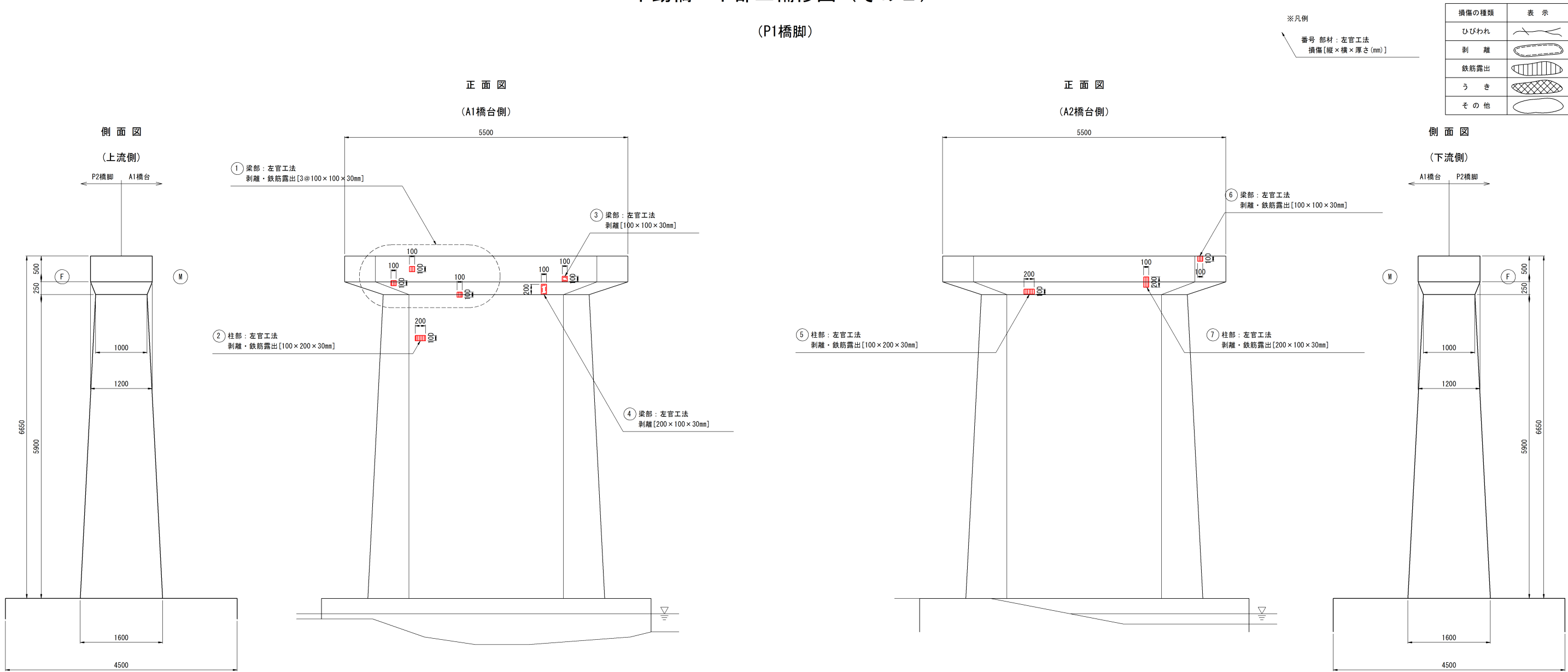
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 8	不動橋 下部工補修図(その1)
令和 4 年度	
大洞線(不動橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

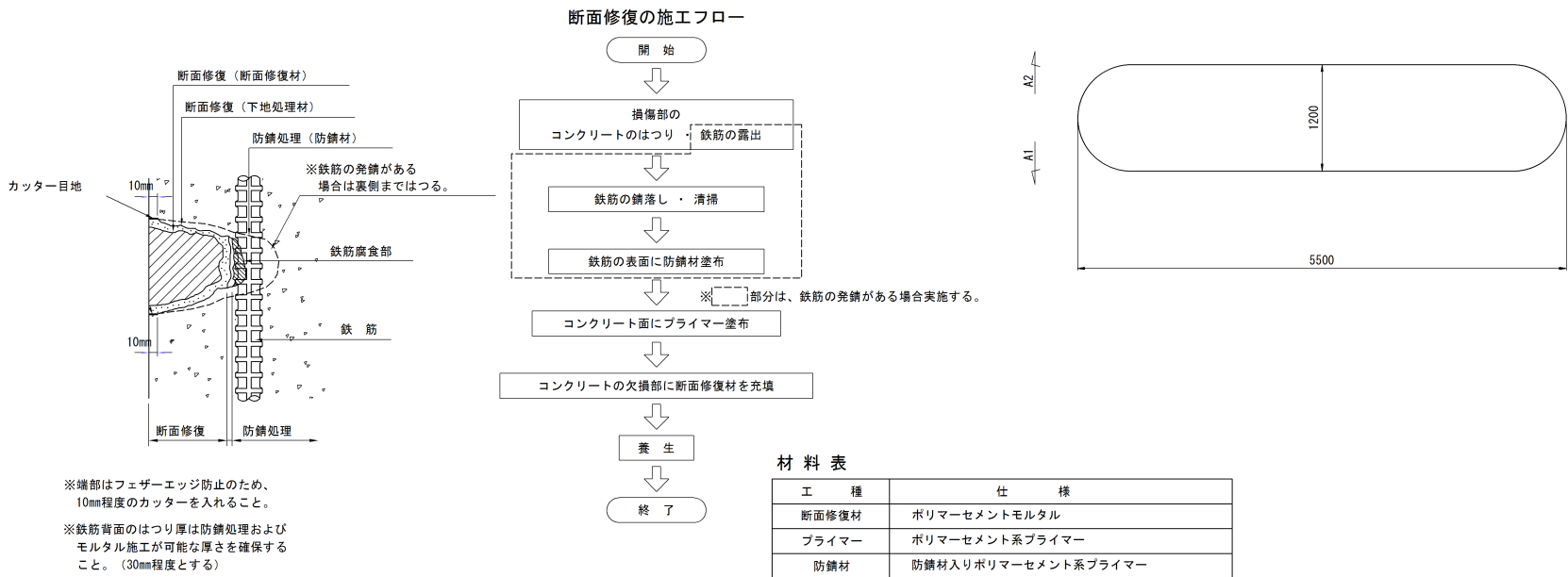
不動橋 下部工補修図（その2）

(P1橋脚)



断面修復工〔左官工法〕

平 面 図



断面補修工 数量表

(ポリマーセメントモルタル)

工 法	箇 所	寸 法						数 量				
左官工法	床版	①	0.100	×	0.100	×	0.030	×	3	=	0.0009	m3
		②	0.100	×	0.200	×	0.030			=	0.0006	m3
		③	0.100	×	0.100	×	0.030			=	0.0003	m3
		④	0.200	×	0.100	×	0.030			=	0.0006	m3
		⑤	0.100	×	0.200	×	0.030			=	0.0006	m3
		⑥	0.100	×	0.100	×	0.030			=	0.0003	m3
		⑦	0.200	×	0.100	×	0.030			=	0.0006	m3
		合 計 =									0.004	m3

※本図面は、橋梁台橋および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 9	不動橋 下部工補修図(その2)
令和 4 年度	
大洞線(不動橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

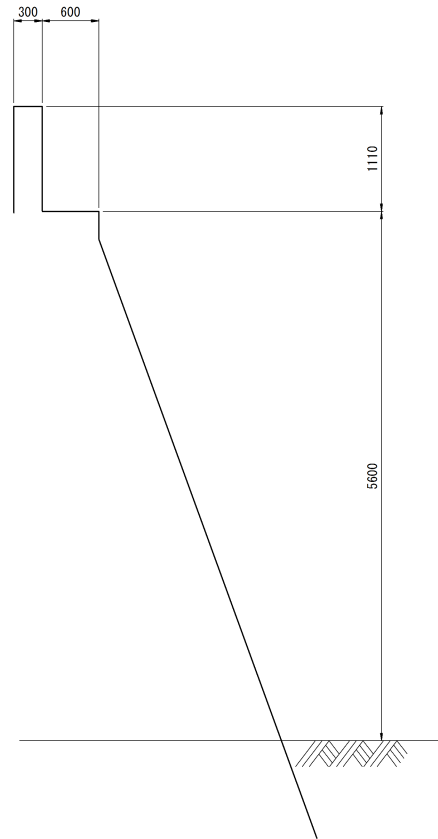
この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

不動橋 下部工補修図（その3）

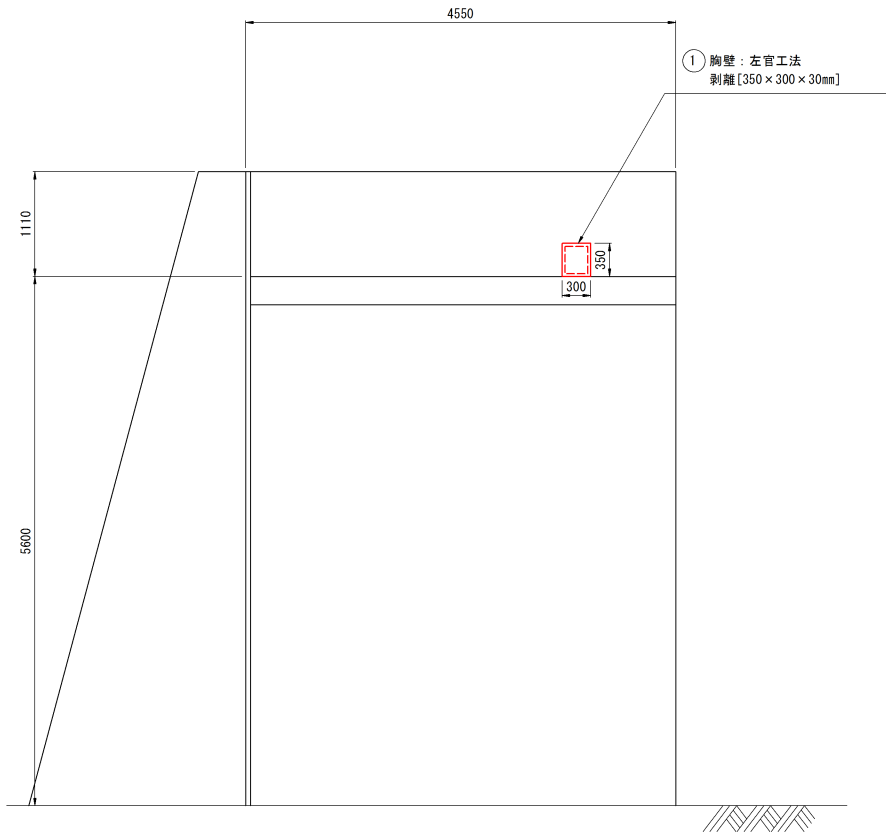
(A2橋台)

側面図

(上流側)

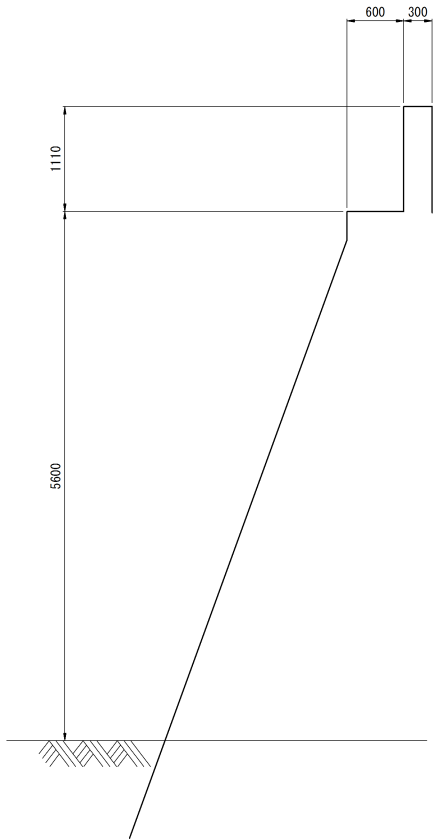


正面図



側面図

(下流側)



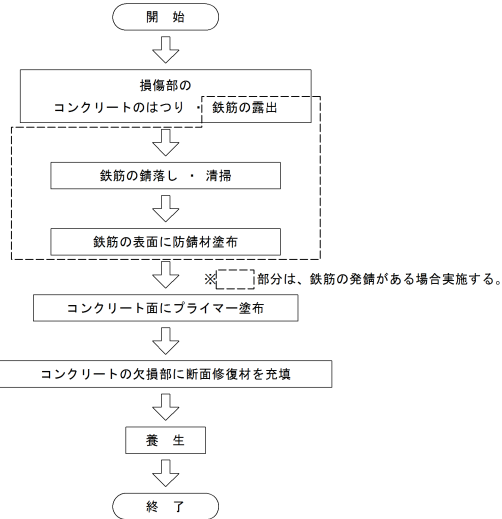
損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

※凡例

番号 部材：左官工法
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

断面修復工〔左官工法〕

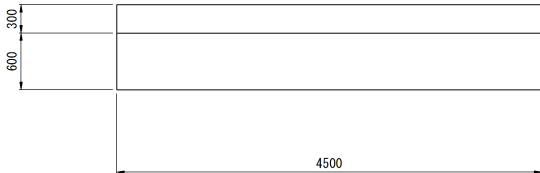
断面修復の施工フロー



材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

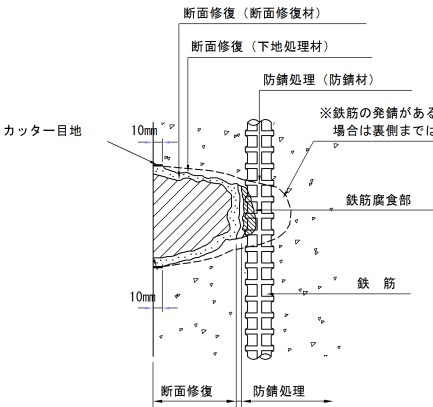
平 面 図



断面補修工 数量表

(ポリマーセメントモルタル)

工 法	箇 所	寸 法	数 量
左官工法	床版	① 0.350 × 0.300 × 0.030	= 0.00315 m3
		合 計	= 0.0032 m3



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。

※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 10	不動橋 下部工補修図(その3)
令和 4 年度	
大洞線(不動橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

不動橋 下部工補修図（その4）

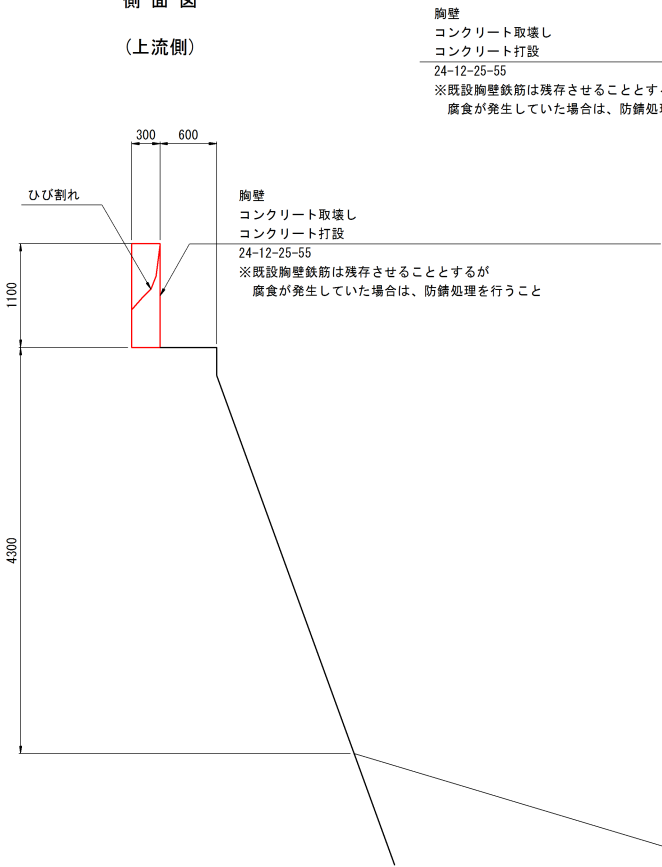
S=1:40

(A1橋台)

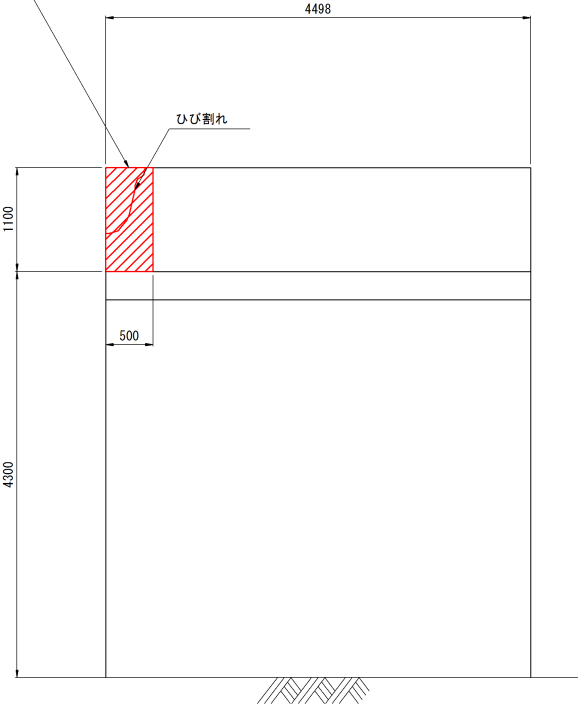
損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

側 面 図

(上流側)

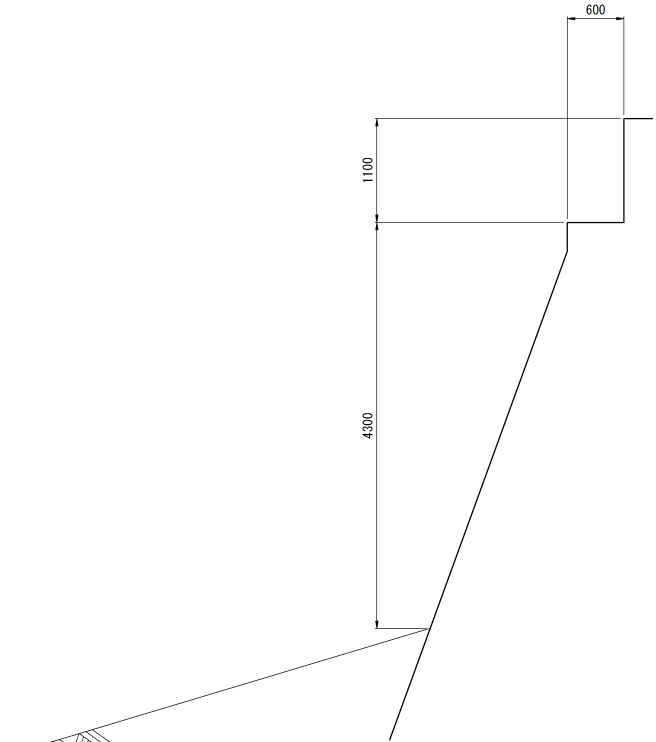


正 面 図



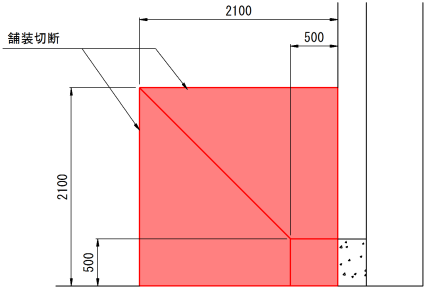
側 面 図

(下流側)

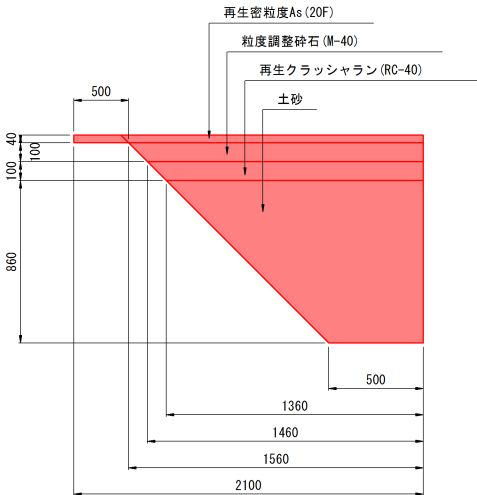


掘削部舗装構成

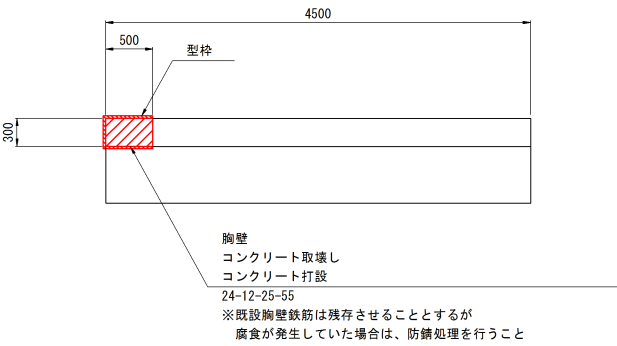
平 面 図



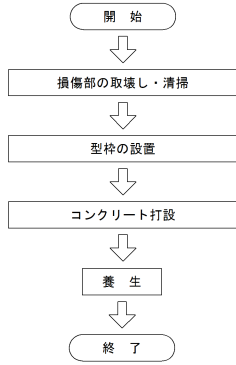
構成詳細図



平 面 図



施工フロー



材 料 表

工 種	仕 様
部分打替工	コンクリート 24-12-25-55

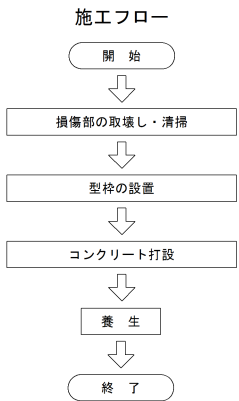
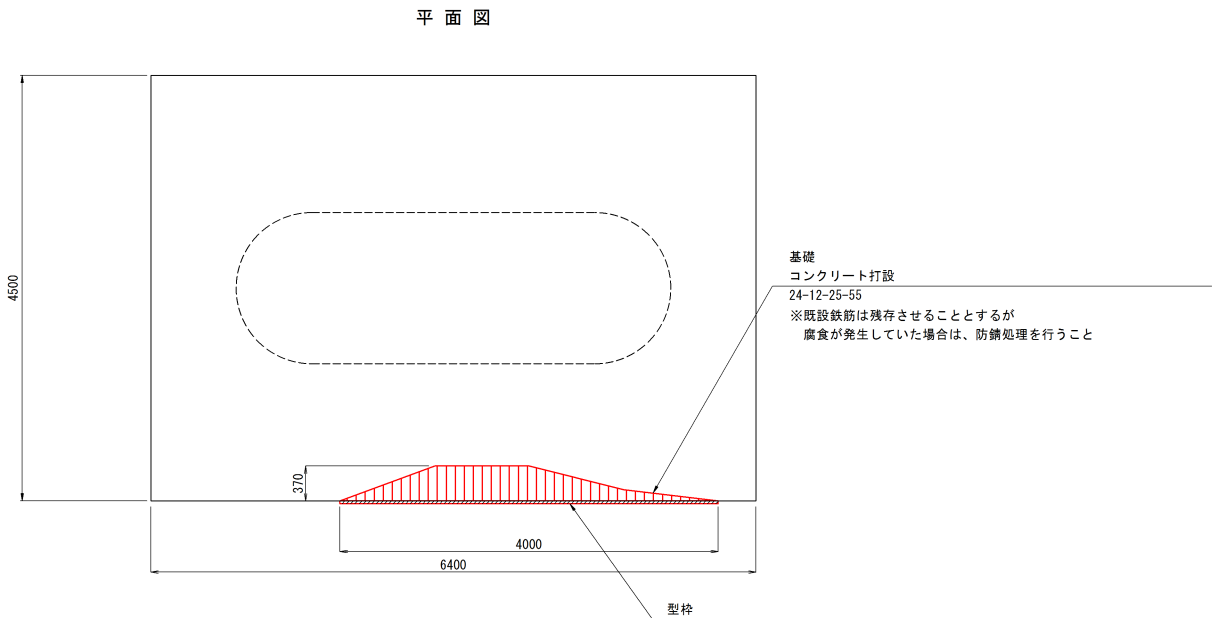
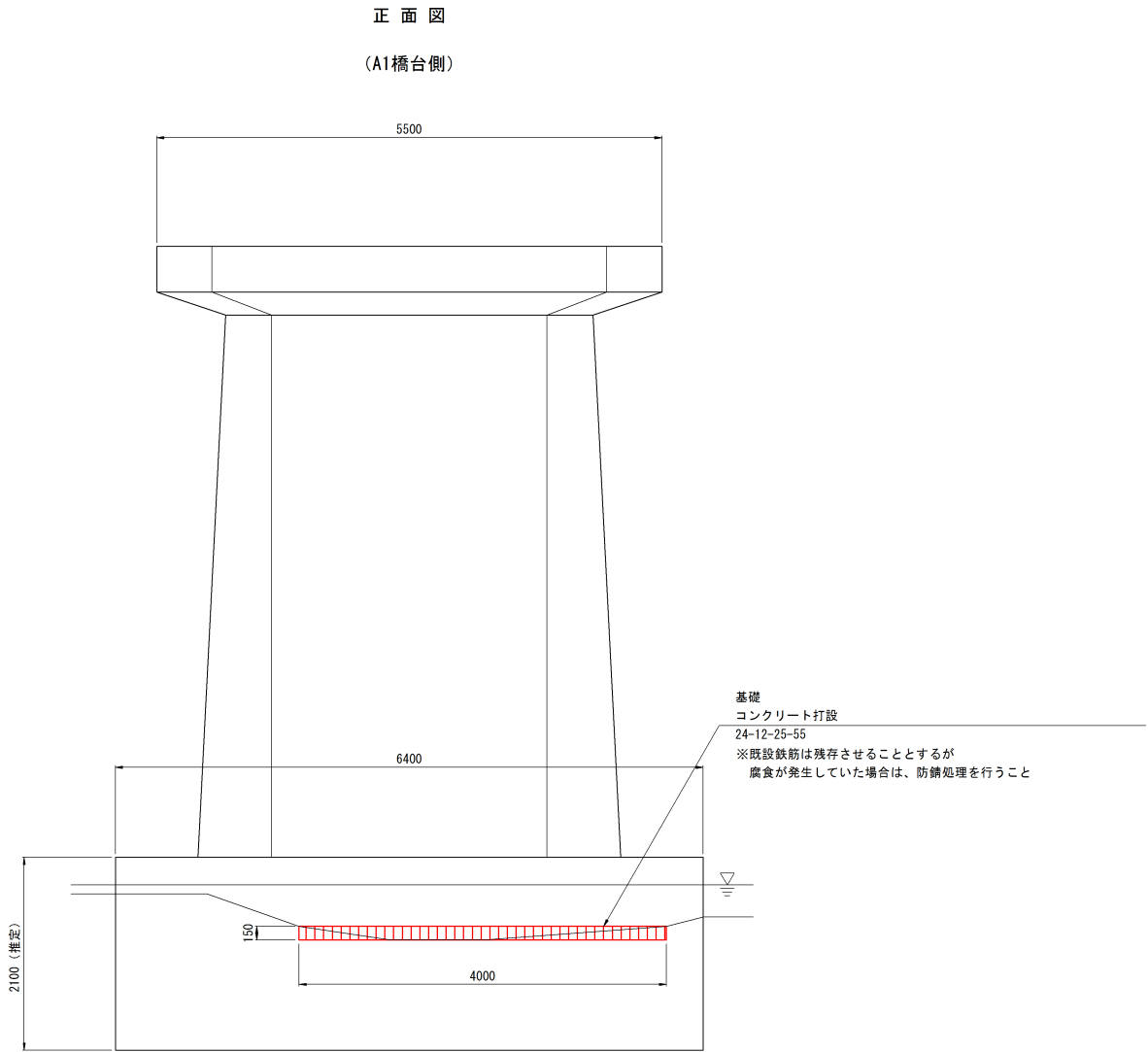
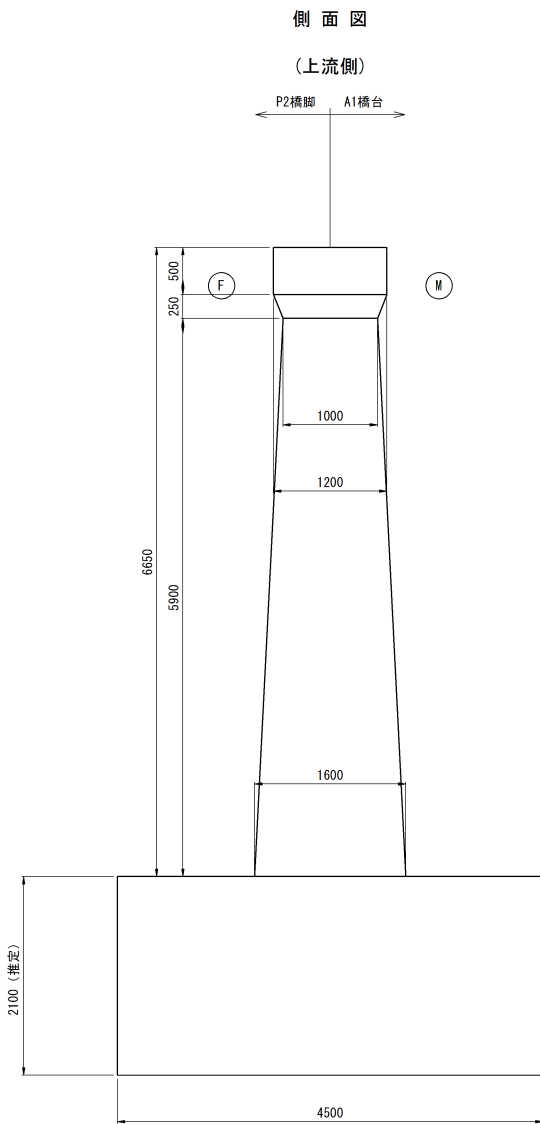
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚 / 中 其 11	不動橋 下部工補修図(その4)
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

不動橋 下部工補修図（その5）

（P1橋脚）



材 料 表

工 種	仕 様
部分打替工	コンクリート 24-12-25-55

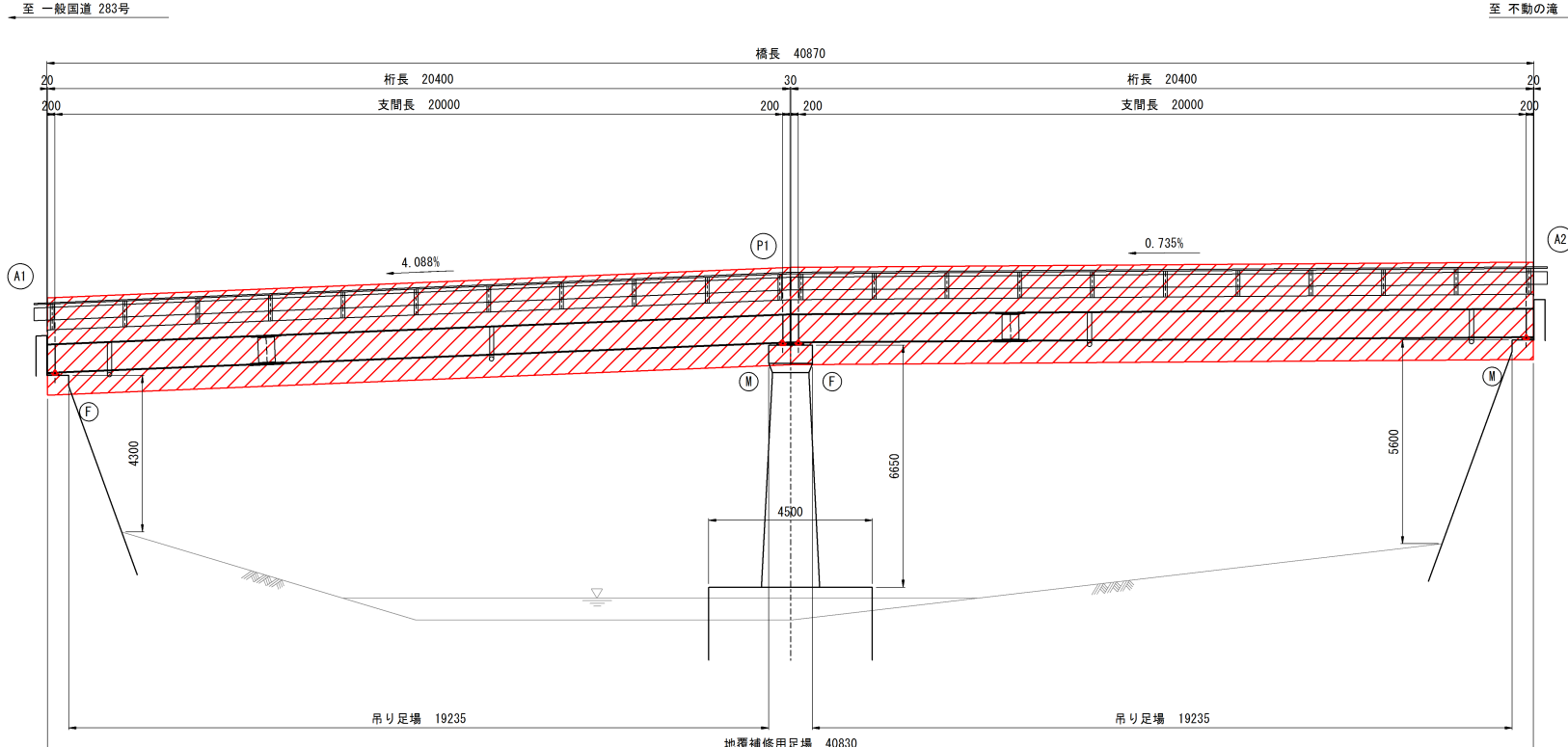
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

釜 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 12	不動橋 下部工補修図（その5）
令和 4 年度	
大洞線（不動橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

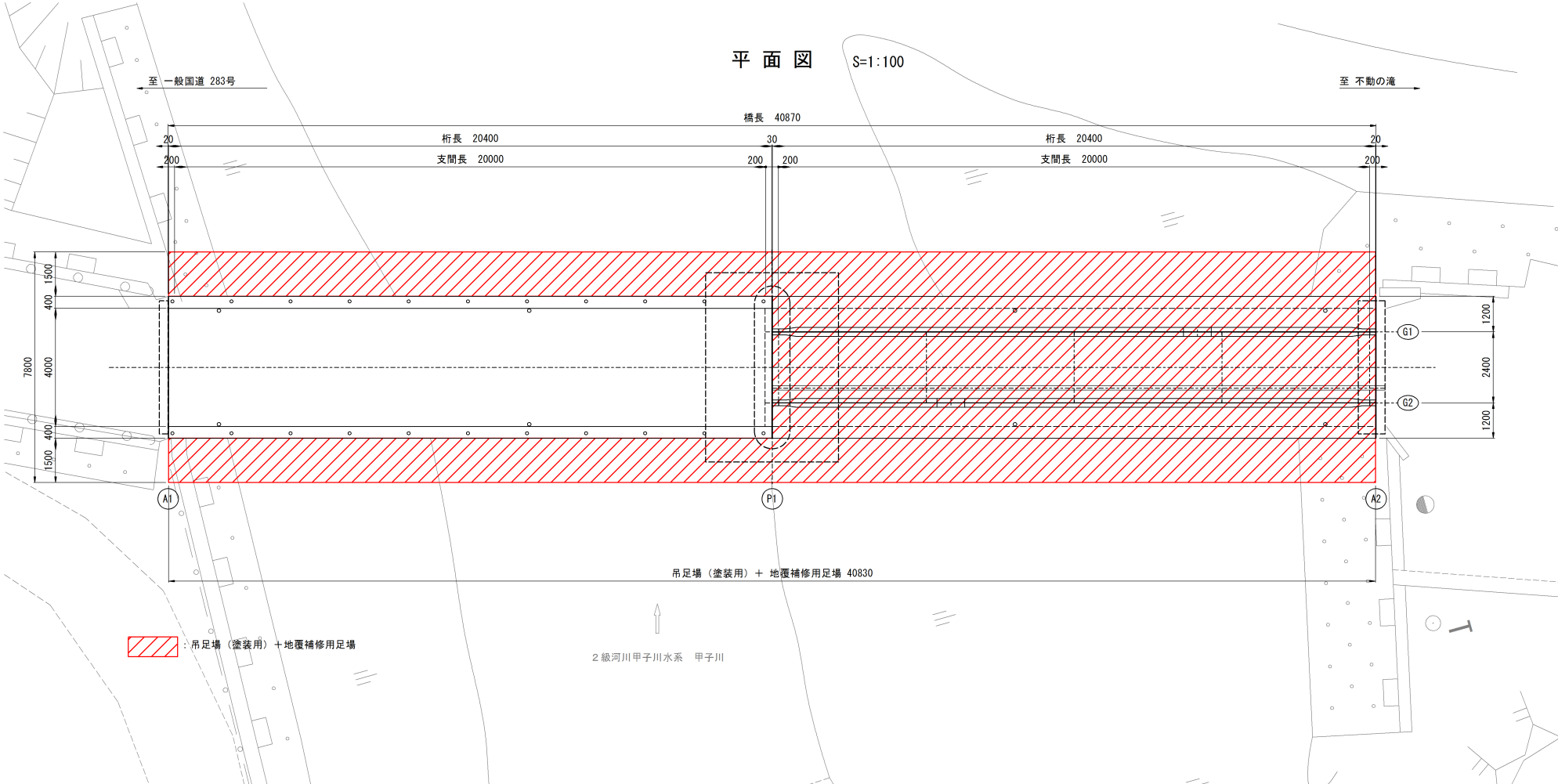
不動橋 施工計画図 (案) (その1)

側面図 S=1:100



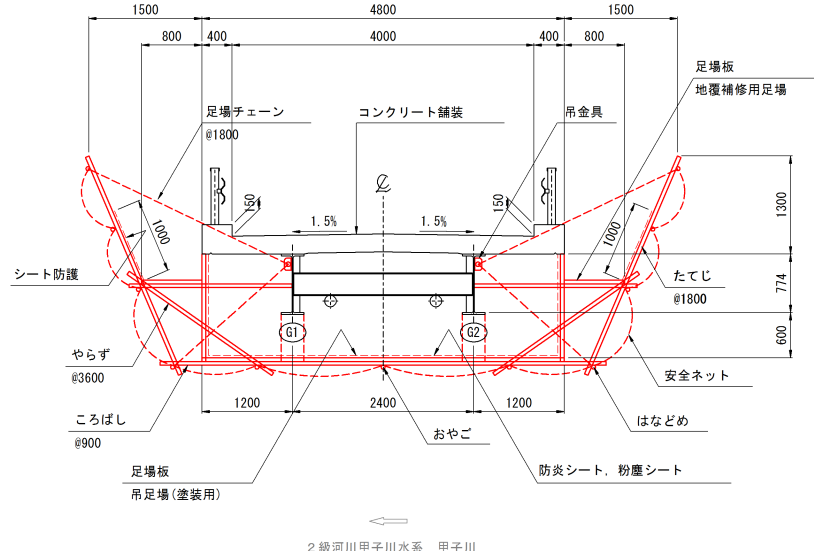
 : 吊足場（塗装用）＋地覆補修用足場

平面图 S=1:100



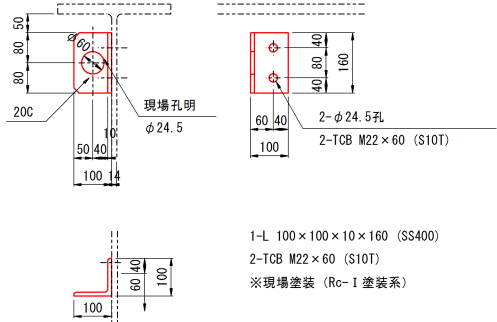
 : 吊足場（塗装用）＋地覆補修用足場

断面图 S=1:50



吊金具詳細図 S=1:10

設置個数(たてじ間隔@1.8m以内)
N=4@12=48箇所



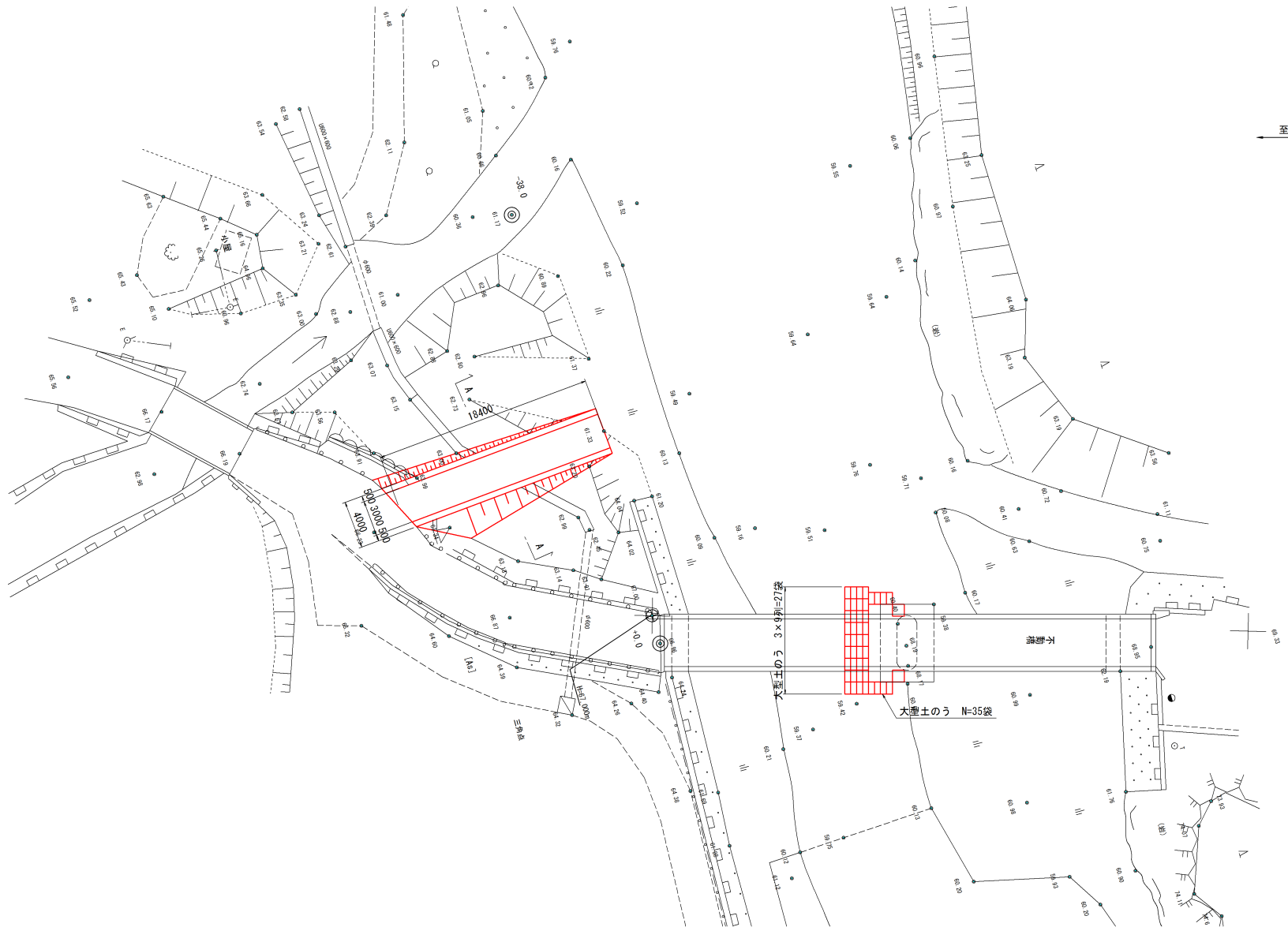
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

金 石 市	
市道 大洞線	金石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 13	不動橋 施工計画図(案)(その1)
令和 4 年度	
大洞線(不動橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

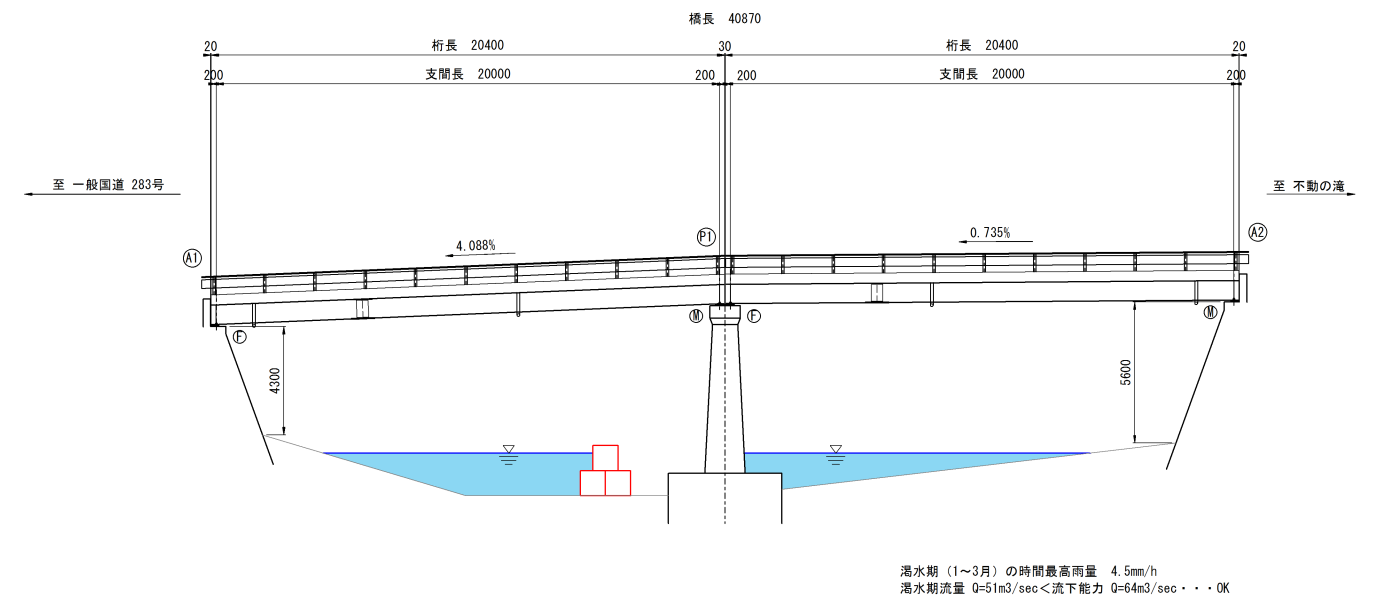
この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

不動橋 施工計画図（案）（その２）

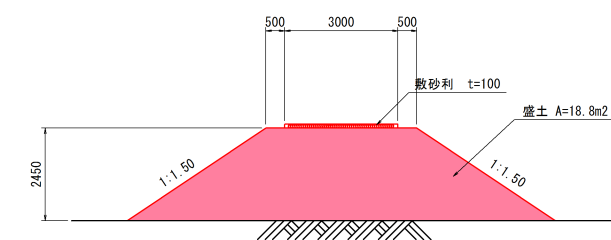
平面图 S=1:250



側面図 S=1:150



工事用道路断面図 S=1:100
A-A



※工事用道路は大型土のう設置時のバックホウが進入する際に使用する。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

金 石 市	
市道 大洞線	釜石市甲子町第8地割
全 14 枚ノ中 其 14	不動橋 施工計画図(案) (その2)
令和 4 年度	
大洞線(不動橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。